

2024年10月 現在

FUJITSU Software

NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ V10a (V10.5.0)

NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ V10a (V10.5.0)

本商品は、国際規格（ANSI'85 およびX/OPEN CAE(Common Applications Environment) 仕様）に準拠し、オブジェクト指向機能などの国際規格COBOL2002の主要機能、SIA 富士通標準仕様および主要な業界標準仕様といった拡張仕様を取り入れた言語仕様を実現するCOBOL 開発・運用環境です。また、資産管理、システム間連携機能、テストデータ作成機能などにより、COBOLアプリケーションの設計～プログラミング～デバッグ～保守の開発サイクルを支援します。さらに、COBOLからJAVAを呼び出す機能、帳票/オーバーレイ帳票印刷機能(MeFt)、既存資産を活用したWebアプリ構築機能、および高性能ソート・マージ機能(PowerSORT)など、ビジネス系基幹業務を構築するための必要不可欠な機能群を提供します。

NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージを使用することにより、既存の COBOL アプリケーション資産/アプリケーション構築ノウハウを活用することができます。

NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージは、開発運用環境であるNetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージに含まれるコンポーネントのうち、アプリケーションを運用するために必要となるCOBOL運用環境やMeFt、PowerSORTなどから構成される商品です。

- ・ サーバ

SPARC Servers / SPARC Enterprise Mシリーズ / SPARC Enterprise Tシリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント

- ・ クライアント

PRIMERGY / FMV

- サーバ

Solaris 11(64bit) / Solaris 10(64bit)

- クライアント

Windows Server 2012 R2(64-bit) / Windows Server 2012(64-bit) / Windows Server 2008 R2(64-bit) / Windows Server 2008(64-bit) / Windows Server 2008 / Windows Server 2003 x64 Editions / Windows Server 2003 / Windows 8(64-bit) / Windows 8 / Windows 7(64-bit) / Windows 7 / Windows Vista

1. セールスポイント

本商品は最先端の環境において高い効率が得られる業務アプリケーションを構築・運用するため、次の機能を提供します。

- ・本商品は、国際規格COBOL2002の主要機能をサポートしています。
- ・NetCOBOLは、PowerCOBOL97のバージョンアップ製品です。PowerCOBOL97で作成したアプリケーションはそのまま本製品で運用できます。
- ・Sun 日本語COBOLやCOBOL 拡張オプション(またはセット)の上位互換を保証しています。これら製品で作成したアプリケーションは、本商品で動作可能です。
- ・COBOL アプリケーションの設計～プログラミング～デバッグ～保守の開発サイクルを支援します。
- ・資産管理機能、システム間連携機能を利用することにより、開発を効率的に行うことができます。
- ・Windows環境を利用した分散開発機能強化(リモートビルド、リモートデバッグ)により、Windowsを核としたサーバアプリケーション開発環境の統合を図り、開発～実行テストまでをWindows上で実現できます。各システムごとに異なっていた業務アプリ作成～デバッグの様式をWindowsに統一することにより、OSごとの違いを意識せず、均一なオペレーションで業務アプリを構築することができます。
- ・SIMPLIA/COBOL支援キットを利用することにより、テストデータの作成/検証作業の効率化が図れます。
- ・Unicode ロケールのサポートにより、利用文字数の拡大と同時に、プラットフォーム間や製品間のデータ流通性向上を実現できます。
- ・オブジェクト指向機能を利用することにより、再利用性に優れたプログラムの開発・運用が実現可能です。
- ・アプリケーションのマルチスレッド化によるアプリケーション運用時の省資源化を実現することができます。
- ・COBOLからJavaのクラスライブラリを利用することができます。
- ・既存資産を活用したWWWサーバアプリケーションを構築することができます。(MeFt/Web機能)
- ・MeFt/Web 機能のセキュリティ強化として、Internet Explorer との組合せでSSL(Secure Sockets Layer)対応を行うことができます。
- ・本商品は、MeFtの機能も含んでいますので、MeFtのセールスポイントも兼ね備えています。
- ・本商品は、PowerSORTの機能も含んでいますので、PowerSORTのセールスポイントも兼ね備えています。

2. 機能詳細

【言語仕様】

幅広い言語仕様のサポートにより、適用範囲の拡大とプログラムの流通性向上を支援します。

(1)国際規格COBOL2002

オブジェクト指向機能などの国際規格COBOL2002の主要機能をサポートしています。

(2)ANSI '85

すべての必須機能単位をサポートしています。

(3)X/OPEN CAE仕様(XPG4)

スクリーン操作機能、行順ファイル、コマンド行引数/環境変数操作、ファイル/レコードの排他制御、連結式などをサポートしています。

(4)SIA 富士通標準仕様

- ・日本語処理機能(日本語データ操作、日本語プログラミング機能、豊富な印刷機能、日本語メッセージ出力)
- ・索引ファイル拡張仕様(逆順検索、キーの複数データ項目による構成)
- ・表示ファイル機能(画面帳票定義体を使用した画面入出力/帳票出力)
- ・システムプログラム記述向け機能(C言語などで獲得した領域の参照)

・中核系拡張機能（定数節、ビット操作、浮動小数点、16進文字定数、記号定数、行内注記、COPY DISJOINING/JOINING文）などをサポートしています。

(5)MF COBOL固有仕様

Micro Focus COBOL 固有仕様における主要機能をサポートしています。

(6)Jアダプタクラスジェネレータ

Jアダプタクラスジェネレータは、Javaのクラスを呼び出すCOBOLクラスを生成するツールです。これにより、COBOLからJavaのクラスライブラリを利用することができます。

【実行環境】

次の機能のサポートにより、サーバ、スタンドアロンどちらの業務にも適したアプリケーションを作成できます。

(1)マルチスレッドのサポート

マルチスレッドモデルで作成されたアプリケーションの開発・運用をサポートします。マルチスレッド機能により、今後さらに増大するIT(情報技術)分野/ネットワークコンピュータ/分散オブジェクト環境での業務アプリケーションの円滑な運用を実現します。

(2)Web サーバアプリケーション作成機能 (COBOL Webサブルーチン)

長年培ってきたビジネスロジックを活かし、Web サーバ上で動作するWeb サーバアプリケーション(CGI、NS API)を作成できます。

(3)豊富なデータストリームの出力

富士通製プリンタに印刷可能なUVPI データストリームやESC/P などのデータストリームを出力できます。

(4)豊富な文字コード種のサポート

シフトJIS および拡張漢字、拡張非漢字、JEF 拡張に対応するU90 コードに加えて、Unicode(UTF-8) をサポートしています。これにより、クライアント/サーバシステムでのシステム間の連携強化が図れます。

(5)C 言語アプリケーションとの融合

COBOL 言語で記述されたアプリケーションとC言語で記述されたアプリケーションの相互の呼出しやデータ域の共有が可能です。

【開発支援機能】

次の機能のサポートにより、アプリケーション開発における生産性の向上を促進します。

(1)COBOL 開発環境

プロジェクトマネージャを中心としたCOBOL 開発環境(翻訳、翻訳エラーの修正、一連の操作手順の登録など)を提供します。

(2)SCREEN-DESIGNER機能

スクリーン操作機能で使用する画面の設計を行うためのユーティリティを提供します。

(3)対話型デバッグ機能

スクリーンモードまたはコマンドモードによるデバッグ、豊富なデバッグ・テスト支援機能（自由度の高い中断点設定、データ内容監視、データ変更時中断、逆トレース、副プログラム単独のテスト）、操作履歴の保存・再現、バッチコマンドファイルによる一括操作、Interstage やWWW サーバなどのサーバアプリケーションのデバッグ などを提供します。

(4)ファイルユーティリティ機能

COBOLファイルの創成、表示、編集、印刷、整列、復旧など、デバッグや保守を支援するユーティリティを提供します。

【本格的なビジネス業務への適用】

帳票印刷機能のサポートにより、本格的なビジネス業務への適用を支援します。

(1)帳票出力実行ライブラリ

きめ細やかな帳票出力を行う実行ライブラリを提供します。

- ・ Interstage List Works と連携することにより、MeFtで出力 される帳票を電子化することができます。
- ・ また、Interstage List Creator と連携することにより、MeFtが出力する帳票をPDF 形式のファイルにすることができます。

詳細については、MeFtのソフトウェアガイドを参照してください。

(2) 既存資産を活用したWWW サーバアプリケーション構築支援(MeFt/Web)

・MeFt/Webは、Oracle Solaris上で動作する利用者プログラムのディスプレイ装置やプリンタ装置への入出力を、WWWブラウザ上で行う機能を提供します。既存のCOBOLプログラムを活用して、短期間でイントラネット環境へ移行できます。

・MeFt/Webは、Solaris上で動作するWWW サーバ連携プログラム (MeFt/Web サーバ) とクライアント側で動作するMeFt/Web クライアントから構成されています。なお、MeFt/WebクライアントにはMeFt/WebプラグインとMeFt/Webコントロール(ActiveXコントロール)の2種類があります。

・Solarisのアプリケーションの画面帳票処理を端末システム側に追い出すことができるため、サーバシステムのSolarisの負荷を軽減できます。

・画面帳票定義体などのユーザ資産をサーバ上で一元管理できます。

【資産管理機能】

PowerGEMは、Solaris で動作する各種資産(ソースプログラムテキスト、文書データ、画面帳票定義体など)を管理する資産管理ツールであり、Solarisでアプリケーションプログラムの開発を効率的に行うための機能を提供しています。また、Windows版PowerGEM Plusから連携する場合にはサーバとして機能します。

【Windows環境を利用した分散開発機能】

Windows環境を利用した分散開発機能強化 (リモートビルド、リモートデバッグ) により、Windowsを核としたサーバアプリケーション開発環境の統合を図り、開発～実行テストまでをWindows上で実現できます。

【SIMPLIA/COBOL支援キット】

(1) テストデータ作成・更新・検証ツール(TF-LINDA)

COBOLファイルの作成/検証(創成、更新、追加、表示、印刷)ができます。テストデータの作成/検証作業が大幅に軽減します。

(2) 開発資産流用支援ツール(TF-MDPORT)

異なるプラットフォーム間における文字コード変換/ファイル形式変換機能により、既存データを流用したテストデータの作成作業を軽減します。

(3) Windows版SIMPLIAシリーズとの連携

Windows版SIMPLIAシリーズとの連携により、ドキュメント作成やテスト実行網羅率の測定ができます。

3. 利用による効果

・ユーザアプリケーションやパッケージなど、既存のCOBOL 資産を有効活用することができます。特にSun 日本語COBOL やCOBOL 拡張オプション(またはセット)、PowerCOBOL97 で作成したCOBOL アプリケーションをそのまま利用することができます。

・EUCをはじめとして、シフトJIS、Unicode(UTF-8) と、幅広いコード系に対応。様々な局面で適切なコード体系を採用することができます。

・COBOL Web サブルーチンを利用してCOBOL スキルでWeb サーバアプリケーションを作成することができます。

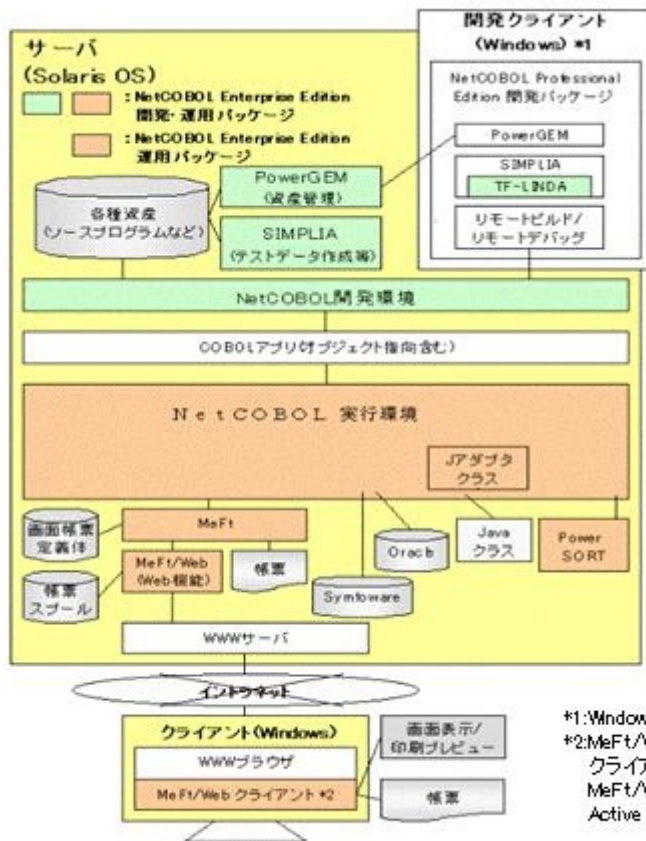
・MeFt/Web を利用し既存のCOBOLアプリケーションを活用して短期間でイントラネット化することができます。

・ビジネスに不可欠な帳票の印刷および、クライアントに出力することができます。印刷結果をPDF ファイルに出力もできます。詳細は、MeFtのソフトウェアガイドを参照してください。また、VSPプリンタへの帳票定義体 (PMD) の印刷が可能となり、帳票の表現力が高まります。

・オブジェクト指向による効率的なプログラミングをすることができます。

・PowerGEM の資産管理機能、システム間連携機能を利用することにより、開発を効率的に行うことができます。

・SIMPLIA/COBOL支援キットを利用することにより、テストデータの作成/検証作業の効率化が図れます。



*1:Windows製品との連携も可能です。
 *2:MeFi/Webプラグインを使用する場合は、クライアントにPlug-inのインストールが必要です。MeFi/Webコントロールを使用する場合は、Active X コントロールがダウンロードされます。

新規機能

V10.5.0からV10a (V10.5.0)の機能強化項目は以下のとおりです。
内部コンポーネントを入れ替えました。

・ オンラインマニュアル

- NetCOBOL V10.5.0 リリース情報
- NetCOBOL V10.5 COBOL 文法書
- NetCOBOL V10.5 使用手引書
- NetCOBOL V10.0 Web連携ガイド
- NetCOBOL V10.0 COBOL Webサブルーチン 使用手引書
- NetCOBOL V10.2 COBOLファイルアクセスルーチン使用手引書
- NetCOBOL V10.5 メッセージ説明書
- NetCOBOL V10.0 例題プログラム
- Jアダプタクラスジェネレータ V10.0 使用手引書
- MeFt V10.5 ユーザーズガイド
- MeFt V10.0 メッセージ集
- MeFt/Web V10.5 説明書
- FUJITSU PowerGEM 説明書
- SIMPLIA/TF-LINDA オンラインマニュアル(*1)
- SIMPLIA/TF-MDPORT オンラインマニュアル
- PowerSORT V6.1.0 リリース情報
- PowerSORT V6.1 ユーザーズガイド

【メディア】

- ・ NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ メディアパック V10a (V10.5.0)
- ・ NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ メディアパック V10a (V10.5.0)

【ライセンス】

- ・ NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージ プロセッサライセンス (1年間24時間サポート付) V10a
- ・ NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージ プロセッサライセンス (1年間24時間サポート付) V10a

本商品のライセンス製品には、初年度の「SupportDesk Standard」がバンドルされています。

1. メディアパックについて

メディアパックは、媒体(CD-ROM等)のみの提供です。使用権は許諾されておりませんので、別途ライセンスを購入する必要があります。また、商品の導入にあたり、最低一本のメディアパックが必要です。バージョンアップ/レベルアップを目的に本メディアパックのみを手配することはできません。

2. プロセッサライセンスについて

プロセッサライセンスは、本商品をインストールするサーバに搭載されているプロセッサ数に応じて以下のとおりに必要となるライセンスです。

- ・シングルコアプロセッサの場合は、1 プロセッサ (COD モデルの場合はCPU RTU ライセンスを持つ稼働CPU) あたり1 本の購入が必要です。

- ・マルチコアプロセッサの場合は、コアの総数に特定の係数を乗じた数 (小数点以下端数切上げ) 分のライセンスの購入が必要です。

- SPARC M12/M10 では、CPU コアアクティベーションキーにより有効化されたコアの総数に特定の係数を乗じます。

- SPARC Enterprise/PRIMEPOWER のCOD モデルでは、CPU RTU ライセンスを持つ稼働CPU 上のコアの総数に特定の係数を乗じます。

マルチコアプロセッサにおける係数については、「関連URL」に記載の「FUJITSU Software (インフォメーション&ダウンロード)」内、「ライセンス体系について」を参照ください。

3. NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージについて

NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージで作成したアプリケーションを他のマシン上で実行する際に必要となる運用環境商品です。

4. ダウングレード使用 (旧バージョン または 旧レベル商品の使用) について

本商品のライセンスでは、ダウングレード使用 (本商品の旧バージョン または 旧レベルを使用) する権利はありません。

対象のバージョン または レベルを使用する場合は、対象のバージョン または レベルに対応したライセンスをご購入ください。

5. V9.0以降のバージョンアップ/レベルアップについて

V9.0以降の本商品をお持ちの場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」のサービスの一環として、最新バージョン/レベルを提供いたします。(お客様からのご要求が必要です。)

「SupportDesk」を導入されていない場合は、新バージョン/レベル商品を改めてご購入頂く必要があります(価格の優遇はございません) のでご注意ください。

なお、「SupportDesk」の詳細については、弊社営業/SE にお問合せください。

6. MeFt/Webクライアントのライセンスについて

本製品には、Windowsクライアントにて動作するMeFt/Webクライアントが含まれています。

MeFt/Webクライアントは、複数のWindowsクライアントにインストールして使用することができます。

7. SIMPLIA/TF-LINDA(COBOL)クライアントのライセンスについて

本製品には、SIMPLIA/TF-LINDA(COBOL)クライアントが含まれています。

SIMPLIA/TF-LINDA(COBOL)クライアントは、1台のWindowsクライアントにインストールして使用することができます。

SIMPLIA/TF-LINDA(COBOL)クライアントを複数のWindowsクライアントにインストールして使用する場合、追加クライアントライセンスを別途購入する必要があります。

8. クラスタシステムにおける製品のライセンス

相互待機形態(Active/Active)で運用する場合は、各サーバに製品を購入する必要があります。ただし、運用待機形態(Active/Passive)で運用する場合は、通常運用時に待機ノードとなっているサーバには運用ノードで購入したライセンスを使用できます。

9. 購入時の特約事項

ライセンス使用条件の特約事項について記載します。

(1) 運用待機構成時

お客様が対象プログラムをインストールするコンピュータが、常時対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「運用系コンピュータ」といいます）と、運用系コンピュータが障害などの理由により使用できない場合にのみ対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「待機系コンピュータ」といいます）により構成されたシステムの場合は、1つのシステムを1台のコンピュータとみなします。その場合、お客様は、ライセンス条件説明書の第1項「基本的なご使用方法」第(1)号により運用系コンピュータに対象プログラムをインストールして使用することに加え、待機系コンピュータに対して、ライセンス条件説明書に定めるライセンス数分、対象プログラムをインストールして使用することができます。

(2) クライアント用ソフトウェア

開発・運用パッケージ製品に含まれるSIMPLIA/TF-LINDAをお使いになる場合、ライセンス条件説明書の第1項「基本的なご使用方法」第(2)号にかかわらず、本製品により、お客様は、ライセンス条件説明書の第1項「基本的なご使用方法」第(1)号において対象プログラムをインストールしたコンピュータに、1クライアントまで同時に接続することができるものとします。

関連ソフト

- 1. 分散システムの構築、CORBAアプリケーションの開発・運用をする場合**
Interstage Application Server Enterprise Edition 7.0.1 以降が必須
- 2. オンライン系の同期アプリケーション連携実行基盤、非同期アプリケーション連携実行基盤においてCOBOLのサーバアプリケーションを開発する際の開発コストを軽減したい場合**
Interstage Business Application Server 8.0.0 以降が必須
- 3. 高信頼なバッチ業務を構築したい場合**
Interstage Job Workload Server 8.1.1 以降が必須
- 4. データベースを使用する場合（以下のいずれかが必須）**
Symfoware Server Standard Edition / Enterprise Edition / Enterprise Extended Edition 7.0.1 以降
Oracle Database Standard Edition / Enterprise Edition 11.1.0以降
Oracle Database Standard Edition / Enterprise Edition 10.1.0以降
Oracle Database Standard Edition / Enterprise Edition 9.0.2以降
- 5. OracleへのREAD/WRITEインターフェースによるアクセスを行う場合**
PowerRDBconnector for NetCOBOL 1.0 が必須
- 6. RDMファイルへのアクセスや表示ファイルで非同期型メッセージ通信を行う場合**
PowerRW+ 2.0以降が必須
- 7. C-ISAMファイルへのアクセスを行う場合**
C-ISAM 1.0が必須
- 8. コンソール操作機能を使用する場合**
Systemwalker Centric Manager Standard Edition / Enterprise Edition / Global Enterprise Edition 12.1 以降が必須
- 9. 表示ファイル(PRT)およびFORMAT句付き印刷ファイルを使用して、Interstage List Manager および MeFt と連携し帳票をセンター集中形態で配信する場合**
Interstage List Manager Standard Edition / Enterprise Edition 8.0 以降が必須
- 10. 印刷ファイルまたは表示ファイルを使用して電子帳票を作成する場合**
Interstage List Works Enterprise Edition 8.0.0 以降が必須
Oracle Solaris 11およびUnicode環境の場合は、V10.1.0以降
- 11. 帳票のデータ入力・印刷業務をインターネット化、電子化する場合**
Interstage Form Coordinator Standard Edition 7.0 以降が必須
- 12. UNICODE(UTF-8)ロケールで、帳票定義体を使用する場合、FORMAT句なし印刷ファイルを使用してEUCコードに丸めて印刷する場合、または、PowerGEM機能利用する場合（以下のいずれかが必須）**
Interstage Charset Manager Standard Edition Agent 7.x 以降
標準コード変換 1.2
- 13. COBOLアプリケーションの印刷を電子化する場合**
Interstage Print Manager Standard Edition 8.0.0 以降が必須

14. MeFt/NET-SVを利用した画面入出力および印刷機能を行う場合

MeFt/NET-SV 1.1が必須

15. 印刷処理について

- ・ PrintPartnerVSPシリーズのプリンタ装置での印刷処理を行う場合（以下のいずれかが必須）

PrintWalker/BPC 4.2以降

Oracle Solaris 11の場合は、6.0以降

PrintWalker/BPC-EX 4.2以降

PrintWalkerの詳細については以下を参照してください。

<http://primeserver.fujitsu.com/printer/>

- ・ JEF 拡張漢字およびJEF 拡張非漢字の印刷を行う場合に必須

日本語拡張表示オプション 2.2.8 以降

日本語拡張印刷オプション 1.2.8 以降

日本語拡張印刷ゴシック体オプション 1.0.3 以降

1. NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージについて

NetCOBOL Enterprise Edition 運用パッケージは、NetCOBOL Enterprise Edition 開発・運用パッケージで作成したCOBOLアプリケーション用の運用環境商品です。

2. 開発可能なアプリケーションについて

本商品のNetCOBOLコンパイラは、32bitバイナリのオブジェクトを生成します。

3. GUIの開発環境およびSCREEN DESIGNERについて

COBOL開発環境において、cobmkmfやcobdependなどのコマンドはUNICODE対応をしていますが、GUI環境については、UNICODE対応しておりません。また、SCREEN-DESIGNER機能もUNICODE対応しておりません。

なお、GUIの開発環境およびSCREEN DESIGNERについては、次版より提供を中止する予定です。

4. MeFt/Webについて

本商品のMeFt/Webでは、接続する端末(WWWブラウザ)ごとに利用者プログラムが起動され、接続できる端末の台数は、利用者プログラムの処理内容/構造やハードウェアの性能に大きく依存します。

このため、実際に運用できる端末数については、システム構築時に事前の検証が必要です。

なお、端末台数が多い大規模システムでの利用は推奨しません。

5. クラスライブラリについて

クラスライブラリ(コレクション・帳票印刷・DBアクセス)の提供を今版より中止します。

6. Oracle Solaris 11での動作について

以下の機能は、Oracle Solaris 11での動作は保証していません。

- ・GUI開発支援ツール(プロジェクトマネージャ、SCREEN-DESIGNER)
- ・デバッガ(スクリーンモード)
- ・ファイルユーティリティ(スクリーンモード)
- ・PowerGEM

7. Enterprise Editionの機能範囲について

本製品はNetCOBOL Professional Edition 開発・運用パッケージ、およびPowerSORTの機能を包含しています。各製品のソフトウェアガイドも参照してください。

お客様向けURL

- **FUJITSU Software (NetCOBOL)**

本商品の詳細は、以下のNetCOBOLホームページを参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/software/cobol/>

- **FUJITSU Software (PowerSORT)**

PowerSORTについては、以下のホームページを参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/software/powersort/>

- **FUJITSU Software (SIMPLIA)**

SIMPLIAについては、以下のホームページを参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/solutions/infrastructure/dynamic-infrastructure/sdas/products/simplia/>

- **FUJITSU Software (インフォメーション&ダウンロード)**

「ライセンスについて、くわしく知る」の項で

富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポート期間などの情報を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/>